



広報 No.22

2013年1月

新春号



『中学1年生』

団長 吉原 宏一

2013年の新しい夜明けを皆様には健やかに迎えられることと思います。

昨年は予定しておりました年間演奏会並びに他団との友好賛助出演も含めてすべてを終えることが出来ました。改めて心から厚くお礼を申し上げます。

さて、当合唱団も2001年に大阪市の「地域文化拠点作り」事業の第1号としての支援を受けて以来、早や13年目を迎えるまでになりました。特に2006年に団が自主運営となってからは、紆余曲折の連続の中「美しいメロディ」「美しいハーモニー」を求めつつ、団員の一人一人が使命感を持ち、今日の「ひらの」を育てて来られました。まさしくこの6年間は手探りの中の成長過程でした。言い換えれば、2001年に命を受けた幼児がヨチヨチ歩きをしながら一つ一つ成長を重ねやっとな小学校を卒業することが出来、そして今年「中学生」として新たな歩みを進めつつ、さ

らに13歳としての「自覚と自信」「目標と主張」「反省と前進」を繰り返しながら「ひらの」の団員としての自負、合唱における相互協調をさらに培って頂きたいと思います。



今日まで様々な方々からの人的・物的資源を受けて来ました。然しながら、今日の社会情勢の変動により、これからの「ひらの」の前には幾多の試練が待ち受けている事も心の隅に憶えて頂きたいと思います。

そして、それらの試練を糧に「一個の人格を持つ合唱団」として、さらに「平野区の音楽文化向上の一翼を担える合唱団」としての自信と確立、そんな夢を抱きつつ今年も皆様と「ひらの混声合唱団」をより個性のある合唱団として作り上げて行きたいと願っています。



クリスマスコンサート第一部演奏風景

クリスマスコンサート

クリスマスコンサート「第九」演奏風景



昨年12月19日(水)、ひらの混声合唱団の一年の締めくくり、メインイベントであるクリスマスコンサートを無事終える

ことができました。これも団員の皆さんの一年間の練習成果のたまものです。リハーサルでは延原先生から手厳しいご指導が入り、どうなることやらとやきもきしましたが、アンケートによれば演奏、選曲の評価も良く、女性の新調の衣装も評判が良かったようです。

賛助出演いただきました大正区民合唱団[フロイデ]の皆様、OBの皆様に感謝いたします。



を掛けて頂き、私たちは本当に気持ち良く、楽しい練習をさせて頂き本番に臨む事が出来ました。平野までは遠かったのですが、皆さんにお会いするのがとても楽しみでした。

コンサートでの藤田先生はおとぎの国のお姫様のように、なんと可愛らしかった事か！普段、練習時の先生は厳しい方とお見受けしますが、団員一人ひとりをよく見、よく聴き、皆の中に入り指導され、吉原団長さんを柱にとっても纏まって居られる合唱団だと感服いたしました。

延原先生の軽妙なお話は、出番待ちの私達の所まで壁越しに聞こえてきました。「指揮者コーナー」ではくベートーヴェンの運命>



延原先生の軽妙なお話

あの「ジャジャジャジャ〜♪・・・」の部分を指揮させてもらえる！！満面の笑み、得意顔、チビっ子もお父さんもお母さんも会場に溢れる笑顔が見えるようでした。延原先生のマジックで会場が一つになった瞬間でしたね。

第2部「第九」延原先生の指揮が始まりました。自然に気合が入ります。「フロイデ シェーネル ゲッテル フンケン・・・♪♪♪」お世話になった平野の優しい皆さん、本当にありがとうございました！！

テノールOB・石井博之様

昨年12月は、一万人、平野、淀川と3度、コンサートに参加しました。なかでも平野は、とても一体感が伝わる合唱でした。これは、今迄の経験を過信せず、先生方

Program

- C.フランク : 「莊厳ミサ」より
"天使の糧 Panis Angelicus"
J.S.バッハ : 「教会カンタータ第147番」より
"主よ、人の望みの喜びよ Jesus bleibet meine Freude"
F.J.ハイドン : 「オラトリオ"天地創造"Hob.XXX2」より
"御神の栄光を語り Die Himmel erzählen die Ehre Gottes"
A.ヴィヴァルディ : 「四季」より "春" "冬"

～ 休憩 ～

指揮者コーナー:会場のお客様がオーケストラの指揮者に!

L.v.ベートーヴェン:交響曲第9番二短調 Op.125「合唱付」より"第4楽章"

～クリスマスキャロル～

- 諸人こそぞりて
- 牧人羊を
- きよこの夜

- ★ 指揮とお話 : 延原武春
★ ヴァイオリン独奏 : 浅井咲乃
★ ソリスト : ソプラノ/藤田瑞穂 アルト/栗谷佳苗
: テノール/中塚昌昭 バス/林 康宏
★ 演奏 : テレマン室内オーケストラ
★ 合唱 : ひらの混声合唱団

～クリスマスコンサートに賛助参加して～

大正フロイデ・小林 尚子様

「平野の皆さん、ありがとう！！」

心地良い緊張と高揚感、今でも甦ります。最初の練習時から「寒かったでしょう！遠いところ、有難うございました。宜しく願います。」と皆さんから声

の指導を真摯に受け止め、練習した成果でしょう。歌って（聴いて）いて、言葉では言い表せない喜びと感動を味わいました。又、音楽が持つ、人の心をつなぐ力を再認識しました。

参加を呼びかけてくれた吉原団長さん、心よく受け入れてくれた団員の皆さん、ありがとうございました。

バスOB・世木田 敏 様

私は、第九を歌い始めて節目の10年になりました。この私の記念すべき年に、ひらの混声合唱団よりお誘いを賜り、皆様とご一緒に歌うことが出来、大変光栄に思い感謝しております。私の歴史の一頁になりました。初

めて第九に挑戦した時、MDを電車の中、車の中、散歩中、就寝時、と年末まで第九一色で特訓をし、暗譜に漕ぎ着けたのを思い出しました。皆様がバッハ、ハイドン等素晴らしい曲に取り組んでおられるのを羨ましく思います。

私は今、皆様の合唱を聴く側ですが、この2～3年で相当レベルアップしたと思います。ユニゾン以外のパートのハーモニーに重圧感があります。「ひらの混声合唱団ここにあり」と、世間が認める日もそう遠くないと信じます。その為には、若い人の入団が課題ではないでしょうか？



「四季」ヴァイオリンソロ演奏
浅井咲乃さん



ソリスト
藤田、薬谷、中塚、林 各氏



指揮者コーナーで指揮する少女

大阪市コミュニティ合唱祭

2012年10月14日旭区民センターにおいて、8つの混声合唱団参加による第2回大阪市コミュニティ合唱祭が開催されました。ひらの混声合唱団は最後に登場し、第1部合唱団演奏の部では「天使のパン」、「椰子の実」、「ふるさと」を熱演しました。第2部合同合唱では、混声合唱団のための組曲「滯」の第一楽章、第四楽章と「ハレルヤ」を参加合唱団全員で演奏しました。日本の歌、

特に唱歌は誰もがよく知っており、観客の耳も肥えている曲だけに演奏が非常に難しいのですが、アンケートによれば「椰子の実」の演奏は良かったとのこと。これを励みに来年に向けてより完成度の高いレベルを目指したいと思います。交流会では、ひらの混声合唱団定番の「河内音頭」を披露しました。途中からは他の団の方々も飛び入りで参加され盛り上がりました。



合唱祭演奏風景



交流会で「河内音頭」披露

新春懇親会

1月9日(水)大阪市コミュニティ協会、区役所からの来賓、先生方をお迎えして恒例の新春懇親会が行われました。今年の余興では有志による男性合唱が初披露され、和やかな懇親会となりました。

大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会 佐藤事務局長ご挨拶

このような晴がましいところにお招きいただきありがとうございます。

昨年、突然の人事移動で塚原前館長から引継ことになりました。佐藤でございます。



今回のクリスマスコンサートは、皆さんの一致団結した働きによって例年にもましてまとまりのある良いコンサートになったと思います。コミュニティ協会としても喜んでおります。

このコンサートが12回にわたり続けてこられましたのも、平野区役所の区民の合唱団を平野区に根付かせようという並々ならぬお力添えがあつてのことでございます。本当にありがとうございます。

延原先生から「お客さんの鑑賞するマナーも含めて良いコンサートになったね」とのお言葉をいただきました。これは、演奏する側がよかったことにくわえて、お客さんも非常に落ち着いた雰囲気なかでコンサートを共に作り上げることができたこと、また団の皆さんの努力によってこの平野にコンサートが根付いたということに対する評価、お誉めの言葉と受け止めています。

団の皆さんの日々の厳しい練習を時折拝見させていただいております。音楽は門外漢ですが、日々の真摯な練習が着実に力をつけていると思います。

来年度の区民センターの指定管理については、只今、コンペを行っている途中であり、まだ結果が出ておりません。大阪市の判断によって行方が決まりますが、コミュニティ協会が継続して引き受けることになりましたら、来年度も皆さん方と一緒に頑張っていきたいと思っております。

藤田瑞穂先生スピーチ

あけましておめでとうございます。ことしもよろしくお願いたします。

去年コンサートいろいろありましたが無事終了しました。当初、チケットの売れ行きが足踏みしてましたが、当日はたくさんのお客さんに来場いただくことができ本当に良かったと思っております。

最後の退場と花束贈呈のタイミングうまくいかなかった反省点はありましたが、延原先生も「昔のことを思えばすごく良い演奏会になった」とおっしゃられています。また、オーケストラの方々からも「毎年新しい曲をやりかつ第九もやってすごいね」と言って下さっています。今年も15年目に向けてますます成長して行けるように、また活躍の場を広げて行けるようになればと期待しております。

お知らせ

◆第3回大阪市コミュニティ合唱祭

- ・開催日：2013年10月6日(日)
- ・第1回合同練習
日時：2013年3月16日(土)午後1時30分～4時
場所：平野区民ホール

◆選曲小委員会より

2013年度は練習曲は下記の他、数曲を検討しています。

- 1) ロビーコンサート、合唱祭曲
合唱曲集『朧月夜』から「紅葉」、「里の秋」、「砂山」の3曲、「川の流れるように」、「大きな古時計」
- 2) クリスマスコンサート曲
 - ・ヘンデル「メサイア」より抜粋
第I部 8. Air and Corus
11. Corus Four unto us a Child is born
第II部 39. Corus Hallelujah
 - ・ベートーヴェン交響曲第九番第4楽章

◆メディア小委員会より

練習日表がダウンロードできるようになりましたので、活用ください。

エピソード(素敵な出会い)

クリスマスコンサート終了後に、小学生の女の子のお母さんが横山さんに「この子がこの合唱団で歌いたいと言っているのですが、入れるのでしょうか？」と聞かれたそうです。ご自宅は松原とのこと。レッスンが平日の夜で、まだお小さいという事もあるので団としては検討中ですが、嬉しくて心がホッコリしますね。この女の子は西成区第九合唱団のコンサート(2012年12月2日開催)で横山さんが知り合った賛助出演仲間です。女の子は一人で参加されていたので、何かと横山さんはお世話をされていたのでしょうか。近くで歌ったのがご縁で親しくなり、「私達のコンサートもあるので、よかったらお母さんと聴きにきてね!」と話していました。平日の夜で翌日には学校もあるので、多分無理だろうとは思っていたのですが、なんとお母さんと一緒に聴きにきてくれたのです。親切にもらったおばちゃんがいって、本格的な演奏で第九を歌えるこの合唱団で歌ってみたいと思ってくれたのでしようね。

西成区第九合唱団のコンサートには、我が合唱団から16名が賛助出演しました。西成区では一般からも合唱の参加者も募られましたので、このような可愛い女の子との素敵な出会いとなりました。

<編集後記>

団だより作成にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。クリスマスコンサートでは、全体進行を担当いただいた吉田様、前準備・当日の受付・誘導等ご協力いただきましたコミュニティ協会の皆様、区役所応援スタッフの皆様、他区勤務先から応援協力いただいた塚原前館長、水田職員、影アナの市民交流センター下元様、ありがとうございました。また、団OBでは、毎年コンサート会場ロビーの寒いところで受付をして下さっている久保、古川両氏、並びに写真撮影担当の下野氏にこの場を借りてお礼申し上げます。

(後藤・萩原)